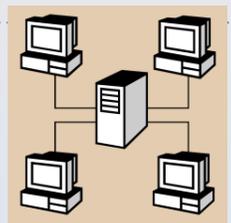


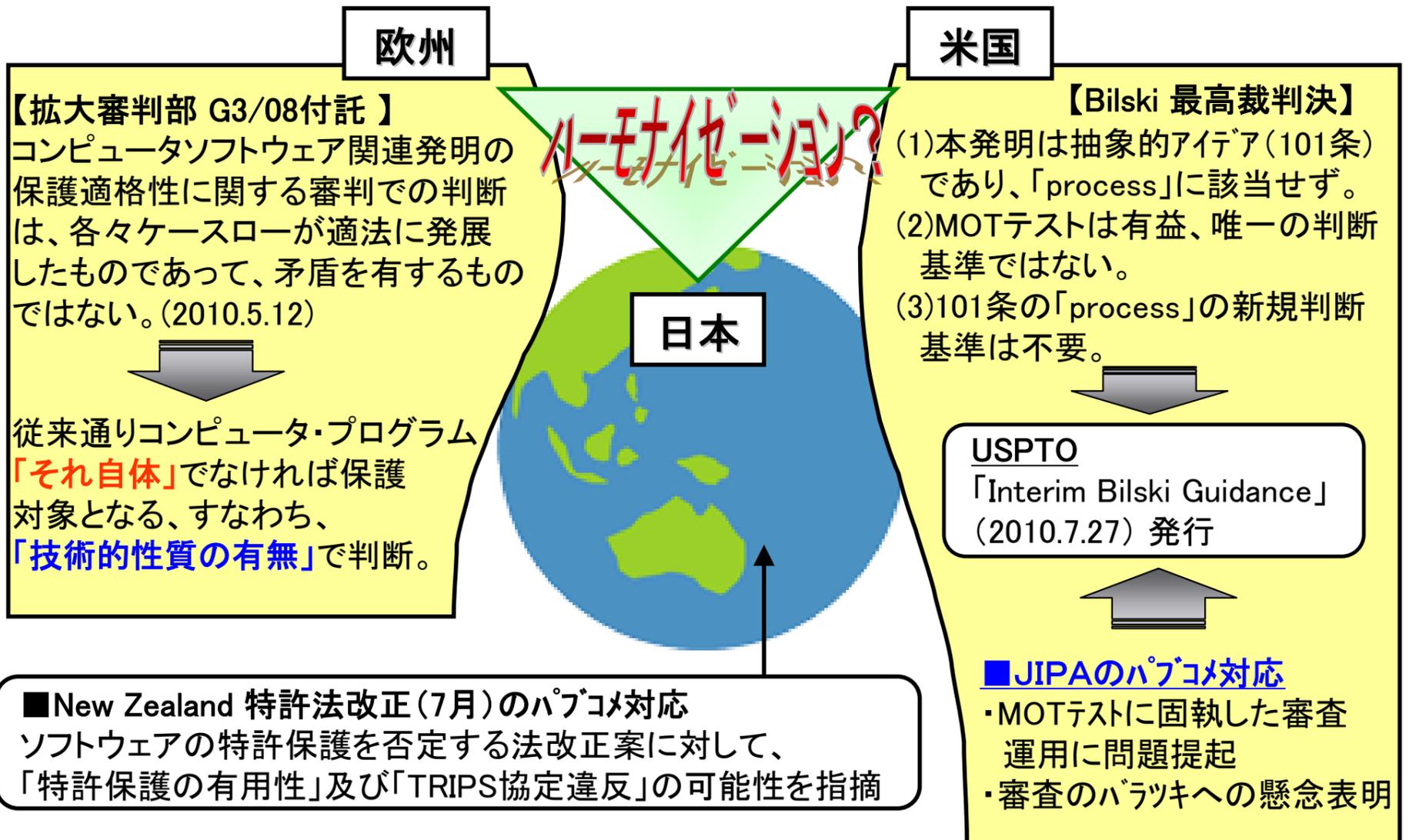
ソフトウェア委員会

<p>■ 米国でCCPA (CAFC) 設立</p>	
<p>1985</p> <p>■ ソフトウェア保護議論 特許権による保護 著作権による保護 ⇒ 2つの権利を考慮する必要有り。</p> <p>■ JIPA、ソフトウェア委員会を設置</p>	<p> IBM</p> <p></p> <p>メインフレームから クライアント・サーバ、WSへ</p>
<p>1990</p> <p>■ CD-ROMの普及</p>	<p> Microsoft</p> <p></p>
<p>1995</p> <p>■ 情報記録媒体の保護</p> <p>■ CAFC: State Street Bank事件</p> <p>■ EPO T1173/97審決</p> <p>■ ビジネスモデル特許ブーム</p>	<p> Intel</p> <p>Windows95 PCの時代</p> <p></p>
<p>2000</p> <p>■ 日米欧でソフト審査基準の議論</p> <p>■ 知的財産立国</p> <p>■ 特許法改正によるソフト保護強化 (プログラム・クレーム、間接侵害)</p>	<p>PCの普及 ⇒ 高速ネットワーク網の整備 ⇒ インターネットの時代</p> <p>JAVA PDA Web</p> <p> Amazon.com</p> <p>Linux iモード</p> <p></p> <p>OSS市場の拡大</p> <p>Apple Creative Commons 仮想化・分散化</p>
<p>2005</p> <p>■ 知財高裁設立</p> <p>■ 新興国ではソフトの特許保護に慎重 (中国、インド等)</p> <p>■ EPO拡大審判部 G3/08付託(欧州:EPC52)</p>	<p>Google Google</p> <p>Web2.0</p> <p> Salesforce Salesforce.com</p> <p>スマートフォン</p>
<p>2010</p> <p>■ Bilski最高裁判決(米国: § 101)</p>	<p>クラウドコンピューティングの時代</p>

ソフトウェアと特許を巡る問題は技術革新に伴って変化し、多くの事件、法制度改正の争点となっている。

2011年度: ネットワーク時代、クラウド時代における諸問題についてテーマ検討予定

米国・欧州のソフトウェア特許の最新保護状況



～詳細な検討内容は、「知財管理誌 5月号」に掲載予定！～

ソフトウェア特許って「使える」の？

そんな疑問に答えます！～2011年3月度、関東・関西部会にて報告予定！～

権利行使による活用

- ・SW特許侵害訴訟の判例分析
- ・地裁と高裁で判断が相違した案件(高裁で権利維持)
- ・クラウド関連特許訴訟のフォロー

顧客向け積極的活用

顧客向け活用事例収集

技術アピール
営業ツール

特許取得を
アピール

ニュースリリース
製品紹介

社内の仕組みのあり方

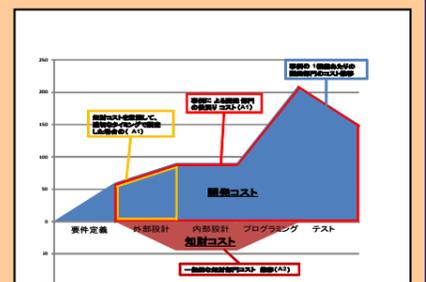
各社の事例
収集

その他の活用
権利行使と

攻め・守り

競合向け活用

特許の競合牽制効果



特許による競合牽制効果をコスト試算

(A) 他社に発生を強い
たコスト

×

(B) 競合
企業数

×

(C) 特許カ
バー率による
係数